

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)	◎	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類になって人々の感覚が緩んでいることもあって、通行量が回復しており、ほぼコロナ禍前の水準まで戻っている。それに伴って、売上もコロナ禍前に近い水準まで回復しており、安どしている。一方、夜型の飲食店については、宴会利用が順調に増えているが、2次会以降での利用はみられず、コロナ禍前の状態に戻るのは至難の業とみられる。
	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・5月の売上は前年比212%、前々年比925%、2020年比2836%となっている。コロナ禍前の2019年比でも87%まで回復している。
	◎	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・輸送量が着実に増加している。特に車両については予想以上の伸びをみせている。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・週末の様子をみると、これまで余り見掛けなかった家族連れの客や年配ツアーの団体客が増えている。それに伴って、当店の来客数も増えており、コロナ禍前の水準を上回るようになってきている。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・まだ力強さには欠けているものの、前年と比べて売上がかなり良くなっている。
	○	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、マスク着用ルールの緩和、試飲試食の解禁などがみられるようになり、それに関連するアイテムの稼働が上向いている。また、60代以上の年配客の来店が増加傾向にある。
	○	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・来客数はコロナ禍前の水準まで戻っていないが、客単価がコロナ禍前よりもかなり上がっている。客単価の上昇が全体売上の増加につながっている。
	○	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・買上客数、客単価、販売量のいずれも2けたの増加で推移していることから、景気は良くなっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・以前と比べて人流が活発になっており、来客数も上向いている。確かに物価は上昇しているものの、全体的な景気は緩やかに回復している。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・商品単価の上昇もあって、売上は増加している。新型コロナウイルスの感染対策が緩和されていることで人の動きも戻っている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・様々なイベントが制限なく再開されていることで人出が増えている。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・景気はやや良くなっている。ただ、4月までの売上の上がり方と比べると5月は期待ほどではなく、力強さを感じられなかった。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・個人向け商材の販売量が増加している。
	○	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・イベントへの来場者数が前年よりも増えており、客の関心が上向いてきていることがうかがえる。3か月前と比較して行動しやすい気候になっていることも客足の伸びにつながっている。
	○	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・例年であれば、桜の開花がゴールデンウィークと重なるが、今年は2週間以上も早い開花となったことから、ゴールデンウィーク前から観光客が増加し始めた。にぎわいがゴールデンウィークまで続いたことで、当店の来客数の増加にもつながった。
○	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行したことで、空港もコロナ禍前のにぎわいを取り戻し始めている。全国旅行支援が後押しとなり、コロナ禍において蓄積されていた旅行需要が活発になっている。	
○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ここ3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で止まっていた旅行需要が動き始めている。	

○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内旅行については、団体客、個人客共にコロナ禍前の2019年比で90%まで回復している。ただ、海外旅行については、物価高騰、円安、燃油高の影響もあって、いまだに回復基調となっていない。
○	タクシー運転手	来客数の動き	・コロナ禍の意識が薄れてきたことで人出が回復し始めている。観光客が増えており、夜間の人出も早い時間帯はコロナ禍前と変わらない水準まで回復している。ただ、遅い時間帯の繁華街の人出はまだコロナ禍前の水準には戻っていない。タクシー1台当たりの売上はコロナ禍前よりも増えているが、乗務員不足の影響でタクシーの稼働台数が少なくなっており、会社の売上はコロナ禍前の70%にとどまっている。
○	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行してから、人流が急速に回復している。
○	タクシー運転手	来客数の動き	・この3年間、コロナ禍でかなり苦しい思いをしてきたが、5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで人の動きが段々と増えている。売上はコロナ禍前の2019年と比較しても約7割の水準まで回復している。
○	観光名所（従業員）	来客数の動き	・3か月前のような観光客の急速な回復ペースこそ落ち着きをみせ始めているが、コロナ禍前にあった修学旅行や豪華客船ツアーが着実に復活し始めており、にぎわいを取り戻しつつある。
○	美容室（経営者）	お客様の様子	・地域イベントや文化サークルなどの催しが再開しており、それに伴って人の動きも活発になっている。そのため、来客数が以前よりも増えている。
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・地元百貨店閉店後、昼間の来街客が3～4割減少している。夜型飲食店は回復の兆しがみられるものの、全体としては悪い状態が継続している。道内外からの観光客も予想を下回っており、歩行者に占める観光客の割合は少ないままである。ただ、マスクを外す人が増えていることで、化粧品などを扱っている一部の店舗では回復に向けての手応えを感じているようである。
□	一般小売店（経営者）	来客数の動き	・来客数は減っているものの、客単価が上がっている。
□	スーパー（店長）	来客数の動き	・商品単価の上昇により売上が伸びているが、来客数に大きな変動はみられない。販売量が前年よりも減少しているため、景気が良くなったとはいえない状況にある。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前と比べて来客数は変わらないものの、野菜や食品の値上げの影響により、販売量及び買上点数が前年を下回る状況が続いている。ディスカウント店を買い回る傾向も依然として続いており、厳しい状況にある。
□	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・前年は新型コロナウイルスの感染対策に伴う行動制限があったことで来客数が減少していた。今年は5類への移行に伴って行動制限がなくなったものの、インフレの影響で安価な店を買い回る客が増えていることから、来客数が前年を下回っている。
□	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・来客数は4月と同様に安定して推移しているが、必要最低限の買物が目立つ。あれが欲しいというよりも仕方なく買い足す様子がみられることから、スーツ関連への支出を最低限に抑えたいことがうかがえる。
□	衣料品専門店（エリア担当）	販売量の動き	・来客数、買上点数共に、前年と比べて伸び率がなかなか上向いてこない状況にある。
□	家電量販店（店員）	来客数の動き	・5月前半は客足が鈍かった。また、気温が低かったこともあって、夏物家電の出足も悪かった。
□	自動車備品販売店（店長）	お客様の様子	・客は来店するが購買につながらない。客単価も低下している。
□	住関連専門店（役員）	来客数の動き	・来客数が依然として増加してこない。
□	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	販売量の動き	・石油製品価格が安定していることもあって、特に変化はみられない。

□	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・客単価は上がらないが、来客数が増えたことで、売上が例年の50%を超えるようになり、景気はやや良くなっている。昼は単価が低くて見栄えの良いセットメニューがよく売れている。夜は振り客こそ少ないものの、ここ数年少なかった4～5人での予約が増えている。公務員が利用するホテルでは送迎会などの宴会が増えたとの話も聞いている。訪問した地方の人気店は女性客を中心に満席となっていて、うらやましかった。
□	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・全国旅行支援の割引率が20%に変更されてから、道外客の利用が顕著に減少している。冬季のインバウンド需要が落ち着いたこともあって、現在の集客状況は余り良くない。
□	観光型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・これまでは宿泊予定日の当月でも予約の動きがみられていたが、こうした動きが鈍くなっている。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・人の動きは活発になっているものの、売上がなかなか伴ってこない。
□	通信会社(企画 担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから、通信端末の出張販売や専門店舗への客足が戻りつつあるが、来客数は街中の人出ほどの回復とはなっていない。春商戦が終わり、高額商材よりも低価格商材に需要が移行していることもあって、売上は横ばいで推移している。
□	美容室(経営 者)	お客様の様子	・売上は前月とほとんど変わっておらず、客との会話でも特に変わった様子はうかがえない。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームを来訪するような客の所得は以前よりも増えているが、マンションの販売価格も高くなっているため、来客数に大きな変化はみられない。
▲	商店街(代表 者)	お客様の様子	・客の反応が今一つであることから、景気は悪くなっている。
▲	スーパー(店 長)	単価の動き	・食品、生鮮の各商品で値上げがあったことで、客が買上点数をセーブする動きがみられる。無駄な買物をしないようにしたり、商品を購入する際に同じような商品で安い方を購入する動きがみられるなど、食費を少しでも抑えようとする様子がみられる。
▲	スーパー(役 員)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人の動きが活発になったが、夜間の売上が回復してこない。客の行動変容が継続している。
▲	スーパー(従 業員)	単価の動き	・商材の値上げに伴って動きが悪くなっている。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・4月と比べると景気は余り変わっていないが、3～4か月前と比べると、明らかに受注台数が減っていることから、景気はやや悪くなっている。
▲	その他専門店 [医薬品](経 営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の終息とともに、業界が低迷し始めた。売上がピークになった2020年と比べると、落ち込みがひどく、医薬品小売業にとって厳しい状況となっている。
▲	その他専門店 [造花](店 長)	お客様の様子	・繁忙期を終え、売上は前年並み若しくは1割の減少で推移している。期待していたほどの動きがみられなかったこともあって、景気は芳しくない状況にある。
▲	旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・4月までは全国旅行支援の効果に加えて、コロナ禍で抑圧されていた旅行需要が解放されたことで特需が生じていたが、5月に入ってから需要が落ち着き始めている。これまでの反動に加えて、物価高の影響もあって、来客数、販売量共に減少している。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・マスク着用の緩和、5類感染症への移行などによって、これまでの新型コロナウイルス感染症の影響から解放されたことで、夜間の人出が一気に増えたが、一時的な動きであった。現在の売上はコロナ禍と同じような水準まで落ち込んでおり、客のライフスタイルの変化が定着していることがうかがえる。
▲	タクシー運転手	来客数の動き	・観光客や日中の地元客の利用状況には変化がないが、夜間の来客数が減少していることから、景気はやや悪くなっている。
▲	美容室(経営 者)	来客数の動き	・物価高や燃料価格高騰の影響なのか、客が低料金の店に流れている。

	▲	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・住宅の着工数が増えてこないため、木材や合板の単価が下がり続けている。
	×	スナック(経営者)	来客数の動き	・毎月、客が減少しており、経営していくのが大変な状況となっている。今年中に店を閉めることも考え始めている。
企業 動向 関連	◎	*	*	*
(北海道)	○	農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年と比べると5月のりんごの在庫が見込み以上に多かったため、景気はやや良くなっている。
	○	建設業(役員)	受注量や販売量の動き	・公共土木工事は新年度受注分の着工期を迎えている。民間建築は前年度からの繰越し工事で年度前半の工事量を確保できていることに加えて、夏以降に着工予定の新規建築案件を受注できている。これらのことから、新年度のスタートとしては順調な出足となっている。
	○	輸送業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・各品目で値上げが続いている影響もあって、物流は一進一退を繰り返しているが、本州の雑貨トレーラーに動きが出始めている。前年末まで例年の2倍の在庫があったバターは、原料の生産量の抑制と消費量の増加を要因に、例年の在庫量に戻りつつある。一方、生乳、紙パルプの動きは相変わらず停滞している。
	○	通信業(営業担当)	取引先の様子	・人流が回復したことで道内の主要産業である観光、飲食、土産品などの業績回復が進んでいる。それらの産業からの波及効果も徐々にではあるが、みられ始めている。
	○	金融業(従業員)	取引先の様子	・国内観光客やインバウンドの回復が続いていることで観光関連業種の業績が持ち直している。人流の拡大により飲食サービス業の業績も回復傾向にある。一方、これらの業種では人手不足感が強まっており、企業収益が改善途上にあるなかで賃上げを余儀なくされている。
	○	その他サービス業[建設機械レンタル](総務担当)	受注量や販売量の動き	・売上について、前年比の推移をみると、4月の14%増から5月は微増と減速したが、インバウンド需要が引き続き活況にあることから、全体的な景況感は上向き傾向を維持している。
	○	その他サービス業[建設機械リース](営業担当)	取引先の様子	・建設投資は全体的に堅調な推移となっている。ただ、資材価格の高騰や人手不足などの不安材料もみられる。
	□	家具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・これまでのコロナ禍の消費行動から、コト消費に移る動きがみられている。
	□	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・建設案件のうち中型の案件がかなり少なくなっている。民間需要が止まり始めていることが要因とみられる。官公庁の案件は規模が小さくなる傾向がみられる。
	□	輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・受注量について、現状から大きく変化するような要因が見当たらない。
	□	司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染対策による様々な制限がなくなったことで、道内外から多くの観光客が訪れるようになり、観光地ではにぎわいをみせているが、道内全体の景気回復にはまだ至っていない。6月から全国的に電気料金が引き上げられること、食料品の値上がりが続いていることから、一般家庭は節約に追われている。ただ、そうした状況のなか、景気が下向いていないことは救いである。
	□	その他非製造業[鋼材卸売](従業員)	受注量や販売量の動き	・売上の見込みが以前よりも増えている。ただ、前年と比べると売上は減少しているため、長期的な観点で考えると決して安心できる状況ではない。
▲	▲	食料品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・値上げによって販売単価が上がっているにもかかわらず、前年の売上をやや下回っている。これは受注量が減っているためであり、景気はやや悪い状況にある。
▲	▲	司法書士	取引先の様子	・受注量や受注単価に変化はみられず、働いている人の給与や収入も変わっていないが、鳥インフルエンザや肥料などの資材高騰の影響で農産物が値上がりするなど、生活必需品の値上がりが続いていることから、家庭で貯蓄に充てる金額が徐々に減ってきている。そのため、景気はやや悪くなっている。

	▲	その他サービス業 [建設機械リース] (支店長)	受注量や販売量の動き	・ 価格の高騰によって需要が低下しており、受注量も減少している。
	×	金属製品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・ 5月の受注額は前年比80%程度になる見込みである。見積依頼数も明らかに少なくなっている。
雇用 関連 (北海道)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・ 4月に新卒者が企業に入社するため、例年5月は求人数の落ち着く時期であるが、今年は新規求人数が3か月前と比べて3割ほど増えており、求人数を底上げしている。コロナ禍の落ち着きと歩調を合わせるように、企業活動が活発になっていることがうかがえる。
	○	求人情報誌製作会社 (編集者)	周辺企業の様子	・ 観光客や外国人が増加しており、駅前では至る所で姿を見掛けるほどである。ゴールデンウィーク期間中は人気店に行列ができていた。イベントの集客もコロナ禍前の水準に戻ってきている。これらのことから、景気はやや良くなっている。
	○	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・ 4月の新規求職者数は前年から10.2%の減少と5か月ぶりに減少し、有効求職者数も9か月連続での減少となった。一方、新規求人数は前年から15.8%の減少と3か月連続での減少となったが、業況堅調な企業からは引き続き安定的に求人が出されている。
	□	求人情報誌製作会社 (編集者)	求人数の動き	・ 季節要因を除くと、小売業やサービス業などの三次産業の求人数には変化がみられない。ただ、企業の潜在的な人手不足の状況は変わっていないため、今後の求人数は若干増えるものとみられる。
	□	職業安定所 (職員)	それ以外	・ 身の回りのあらゆる商材やサービス、燃料などの価格、光熱費が高騰している一方で、こうした物価の上昇に賃上げが追い付いていない状況が続いている。
	□	学校 [大学] (就職担当)	求人数の動き	・ 新卒採用に関する企業の動きはコロナ禍前の2019年と同じような状態に戻ってきたが、採用に向けて慎重な姿勢であることは変わっていない。道内企業は、今後景気が大きく上向き、好景気が訪れると想定していないように見える。
	▲	求人情報誌製作会社 (編集者)	採用者数の動き	・ ありとあらゆる物の価格が高騰し、個人消費が減少していることもあって、娯楽業や生活関連サービスの求人数が減少している。また、物価高騰の影響で採用に慎重になっている企業も多い。企業では新しく人を採用して採算が取れるかどうかを慎重に見極めており、なかなか採用に至らないケースも多い。
	▲	求人情報誌製作会社 (編集者)	求人数の動き	・ 求人数はほぼ横ばいで推移している。コロナ禍からの回復が進んでいるものの、その伸び率は業種を問わず全体的に縮小している。
	▲	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・ 当地における4月の有効求人倍率は0.90倍であり、3か月前から0.06ポイントの低下となった。
	×	—	—	—